

(社) 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第10回 LLW廃棄体等製作・管理分科会 (F9Ph2SC) 議事録

1. 日時 2008年10月16日 (木) 13:30~15:20
2. 場所 日本原子力発電(株)本店 2階 第3, 第4会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
 - (出席委員) 岡本 (副主査), 大浦, 柏木, 坂下, 櫻井, 高橋, 中瀬, 中山, 土生, 水越, 小倉 (幹事) (11名)
 - (代理出席委員) 徳永 (三本木代理) (途中入場) (1名)
 - (欠席委員) 阿部, 河西, 片岡 (3名)
 - (常時参加者) 大塚, 御子柴, 三根, 山田 (4名)
 - (欠席常時参加者) 大間, 藤井, 伊藤, 熊野, 水井, 菊池, 八木, 杉山, 中山 (9名)
 - (傍聴) 中村, 森山, 片寄, 岡本, 樋口 (5名)
 - (事務局) 岡村, 谷井
4. 配付資料
 - F9Ph2SC10-1 第9回 LLW 廃棄体等製作・管理分科会議事録(案)
 - F9Ph2SC10-2 標準委員会の活動状況
 - F9Ph2SC10-3-1 「余裕深度処分対象廃棄体の品質確認方法: 200* (仮称)」標準の新旧対比表
 - F9Ph2SC10-3-2 「余裕深度処分対象廃棄体の品質確認方法: 200* (仮称)」(完本版・案)
 - F9Ph2SC10-4 分科会の進め方について (案)
 - F9Ph2SC10-5 「余裕深度処分対象廃棄体の製作に係わる基本的要件」標準における「製造容器」の取扱について
5. 議事
 - (1) 出席委員の確認
 - 事務局より, 開始時に 11 名の委員の出席があり, 分科会成立に必要な委員数 (10 名以上) を満足している旨の報告が行われた。
 - (2) 前回議事録の確認 (F9Ph2SC10-1)
 - 事務局より, 第 9 回 LLW 廃棄体等製作・管理分科会の議事録 (案) が紹介され, 承認された。
 - (3) 標準委員会の活動について (F9Ph2SC10-2)
 - 事務局より, 標準委員会の活動状況について, 説明が行われた。
 - (4) 廃棄体の品質確認方法標準の本体及び解説の変更案について (F9Ph2SC10-3-1)

山田常時参加者より、F9Ph2SC10-3-1 に従い、前回分科会のコメント等を踏まえた標準の本体及び解説の変更案について説明があり、以下の意見を踏まえて修正することとされた。

主な議論等：

- ・ 表 2 の注 a) の記載内容は、その意図が明確になるように修正すること。
⇒「事業者標準が適切に変更されていることを確認する」という点を明確にする。
- ・ 表 3 以降の表中の確認方法欄に記載の「表●・・・で規定したとおりの～」の表現は、品質確認の標準としては適切でない。
⇒例えば、「容器に係る要求事項(表●・・・参照)を満足する容器が調達されていることを・・・」のスタイルに修正する。
- ・ 表 2 の“II-4 廃棄物の種類、形状及び寸法”の確認方法欄に記載の「固体状廃棄物の強度が高いものであること」は、1 Ba タイプ廃棄体の場合は容器で強度が確保でき、必須条件とならないことから、削除する。
- ・ 「溶接容器とは何か」ということの説明書きを追加するべき。
- ・ “3 用語及び定義”の「放射化金属等」及び「使用済樹脂等」の記載内容について、問題がないこと（すなわち、対象廃棄物をカバーしているか）を確認すること。

(5) 品質確認方法標準の完本版案について (F9Ph2SC10-3-2)

山田常時参加者、柏木委員より、F9Ph2SC10-3-2 に従い、標準の完本版案について説明があり、上記(F9Ph2SC10-3-1)の検討結果の反映及び以下を修正し、サイクル専門部会へ中間報告することが了承された。

主な議論等：

- ・ 附属書 E の p. 5 は、容器の溶接に関する仕様が明確になった段階で挿入する。
- ・ 附属書 F (品質マネジメントシステム) に記載の参考文献は削除する。
- ・ 附属書 F は規定であることから、枠中の記載事項（内容が解説に類するもの）については、扱いを再検討すること。⇒例えば、解説に移す。
- ・ 附属書 F の序文後段の保安規定に関する記載は、他の学会標準における記載を参考に修正する。
- ・ 次回分科会で、サイクル専門部会への中間報告用の概要説明書及び完本版を審議する。

(6) 分科会の進め方 (案) (F9Ph2SC10-4)

小倉幹事より、F9Ph2SC10-10-4 に従い、今後のスケジュールが説明された。

<当面のスケジュール>

- ・ 基本的要件標準案：次回のサイクル専門部会へ本報告する。
- ・ 品質確認標準案：次回のサイクル専門部会へ中間報告する。

(7) 基本的要件標準における「铸造容器」の取扱について (F9Ph2SC10-5)

中瀬委員より、F9Ph2SC10-5 に従い、「余裕深度処分対象廃棄体の製作に係わる基本的要

件」標準における「鋳造容器」の取扱について説明があり、以下の事項を付して承認された。

- ・標準制定後の改訂時に、鋳造容器の必要事項を規定する。

6. その他

次回分科会は、11月17日(月)午後、場所は日本原電本店で開催する。

以 上